

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスプロモーター養成講習会を実施し、運動測定評価や、運動処方ができる指導者を9名養成し、県教育委員会認定のヘルスプロモーターの資格を授与した。 ・コロナ禍で得たノウハウを活かし、安全・安心な体制で県民すこやかスポーツ祭や県民スポーツ大会を通常開催した。県民すこやかスポーツ祭では、ウォーキングやゲートボールなど29種目を県内96会場で実施し、約7600人が参加した。また、県民スポーツ大会では、「ふるさと選手制度」や「総合型クラブ登録制度」の参加資格制度を運用し、8市町で40競技を開催した結果、約9400人の選手・役員が参加した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源やクラブの特色を活かした活動に取り組むシンボリックプログラム創出事業を6つの総合型地域スポーツクラブが受託し、市町や観光協会、競技団体等の協力を得て事業構築や広報活動を行うなど、新たなスポーツプログラム等を創出した。 ・県立武道スポーツセンターにおいて、大相撲大分場所などの大規模大会を開催し、約23万人の利用があった。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある運動プログラムを提供するため、エクシードエクササイズの指導者養成講習会をNPO法人と連携して実施し、7クラブ18名の指導者を養成したことに加え、6クラブで教室を開催した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(5年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②③	地域スポーツ活性化推進事業	106.6	350

【VI. 施策に対する意見・提言】

○大分県スポーツ推進審議会(R6.3)
 ・少子化に伴う子どもたちのスポーツ環境の構築に向けて、学校部活動に変わる地域クラブ活動の指導者や受け皿団体の確保等の課題に対応していくことが必要。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・県民が身近な地域で日常的にスポーツに親しむことができるよう、大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携し、総合型クラブを育成と質的充実を支援する。 ・総合型クラブにおいて、親子で一緒に取り組める運動プログラムの指導者を養成し、子育て・働く世代のスポーツの習慣化を図る。 ・県民すこやかスポーツ祭や、県民スポーツ大会など、より多くの県民がライフステージに応じて参加できる大会やイベントの充実を図る。 ・市町村や総合型クラブ訪問等を通して、地域指導者の掘り起こしを行うとともに、部活動の地域移行に向けた受け皿団体の整備を推進する。 ・県立武道スポーツセンターにおいて、大規模大会等の積極的な誘致を図るとともに、県民の誰もが気軽に利用できる施設として、様々な取組を推進する。